

文化賞

川岸 光司



昭和12年生まれ。徳田在住。

昭和35年から教諭として有田地方の中学校において20年間教鞭をとり、昭和54年から和歌山県教育委員会にて社会教育主事や課長を歴任したのち、平成5年から和歌山県立高等学校校長として勤務し、平成9年退職。

大学在学中の下宿周辺や、教諭として勤務していた学校の周辺地域を徹底的に歩くことによって、寺社など地域を研究し、就学・勤務の傍ら郷土史の知識を深めた。

退職後も郷土史の調査研究を行いながら、平成18年より有田川町文化財保護審議会委員を務め、平成22年より同審議会委員長に就任。吉備中学校校庭遺跡発掘調査実施や同委員会の女性の登用を推進した。そのほか、有田地方文化財研究会会長や明恵上人讃仰会会長なども務める。

また、町内における文化財把握のため、所有権数の確認の悉皆調査を実施。先人達が遺す文化財資源を町民に流布し、文化意識の高揚を図る。

上記の活動のほか、地元新聞へ連載、遺跡への訪問者の説明案内。また、公民館などでの古文書学習会や文化財を訪ねる現地研修会を多数実施し、多くの方々を指導し、郷土史の普及と後進育成に尽力する。

これらの活動は本町における文化振興に大きく貢献しており、その功績は誠に多大であり、計り知れない。